

平成25年第6回庄原市議会定例会

一般質問通告者 及び 質問事項

6月25日～6月27日

質問順位

- | | | | |
|-----|------|-----|-------|
| 1. | 横路政之 | 2. | 八谷文策 |
| 3. | 近藤久子 | 4. | 徳永泰臣 |
| 5. | 坂本義明 | 6. | 吉方明美 |
| 7. | 五島誠 | 8. | 赤木忠徳 |
| 9. | 政野太 | 10. | 宇江田豊彦 |
| 11. | 谷口隆明 | 12. | 林高正 |
| 13. | 福山権二 | 14. | 松浦昇 |

庄原市議会

平成25年6月定例会 一般質問

順位	質問議員	質問項目	ページ
1	横路政之	若者の定住策と乳幼児医療費助成の拡充について	1
		社会福祉法人の指導監査について	1
		風しん予防ワクチン接種促進対策について	2
2	八谷文策	庄原市の観光事業について(比婆山連峰の夢)	3
		ウイル西城の補助金について	3
3	近藤久子	女性管理職登用について	4
		複式学級の増加に伴う課題について	5
		小・中学校における課題について	6
		乳がんの早期発見・早期治療に向けての取り組みについて	7
4	徳永泰臣	本市の農林業振興策について	8
		若者定住促進について	8
		庄原産直市八木店の経営状況について	8
5	坂本義明	庄原市における観光産業について	9
6	吉方明美	庄原市長期総合計画及びスマイルこどもプランについて	10
		放課後児童クラブについて	11
		庄原市営住宅の入居基準と手続きの簡素化について	12
7	五島 誠	子育ての負担感軽減について	13
		電子申請について	13
8	赤木忠徳	人口減少対策について	14
		庄原市出身者の組織化について	15
9	政野 太	超高速情報通信網整備に関する今後の方向性について	16

順位	質問議員	質問項目	ページ
10	宇江田豊彦	「所信表明」について	17
11	谷口隆明	バイオマス利活用問題の早期決着を	20
		子育ての負担感の軽減を	20
		住宅リフォーム助成制度の積極的運用を	21
		生活保護制度の改悪への対応は	21
12	林 高正	地域おこし協力隊員について	22
		庄原市の教育について	22
		給与の減額について	23
13	福山権二	木質バイオマス利活用プラント整備事業について	24
		本村地区の高速道路からの塩害対策について	24
14	松浦 昇	市長の政治姿勢について	25
		国民健康保険制度を被保険者の生活実態に沿うように改善を求める	25
		測量等コンサルタント業務の指名競争入札について	26
		庄原赤十字病院の出産医療の再開について	26

一般質問日程

6月 25日（火）横路政之・八谷文策・近藤久子・徳永泰臣・坂本義明

6月 26日（水）吉方明美・五島 誠・赤木忠徳・政野 太・宇江田豊彦

6月 27日（木）谷口隆明・林 高正・福山権二・松浦 昇

順位	1	質問者	横路 政之	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
1.	若者の定住策 と乳幼児医療 費助成の拡充 について	合併して8年、本市の人口は減少し続けている。「若者が自分の地域から本当にいなくなった」との声を聞く。深刻な状況に対して市長はどう認識しておられるのか。また、改善に向けての具体的な考えを伺う。 若者に本市へとどまってもらうためには、今こそ大胆な子育て支援が必要と考える。 まず、乳幼児医療費の助成を中学生まで拡大してはと思うが、市長の考えを伺う。	市長			
2.	社会福祉法人 の指導監査に ついて	地域主権改革の一つとして、社会福祉法人の認可や指導監査の権限がこの4月、一部を除いて県から市に移った。社会福祉法人の運営については、近年、不適切な経理処理やずさんな資産管理が相次いで明らかになっている。監査には専門的な知識が必要で、人材の育成が急務となっている。 本市における、対象となる法人数と今後の指導監査対応を伺う。 また、専門性が高く求められるが、担当職員の人材育成はどのように考えておられるのか伺う。	市長			

順位	1	質問者	横路 政之	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
3. 風しん予防ワクチン接種促進対策について	<p>現在、風しん患者が都市部を中心に過去最悪のペースで増加している。報道によると、今年の患者数は、4月24日時点ですでに昨年度1年間の2倍に上り、患者数の多さは東京、大阪、神奈川、兵庫等の大都市で顕著である。中国地方の患者数は55人、広島県では31人になっている。今回の大流行の中心は20代～40代の男性で、23歳～33歳の男性は1回しか接種を受けておらず、34歳以上の男性は一度も接種を受けていないなど、ワクチンの定期接種を受けていない世代での感染が広がっていると見られている。</p> <p>これから日本全体で多くの人が移動する夏の行楽シーズンにかけ、中国地方へ流行が拡大するリスクは大変大きい。これを食い止めるには、流行する前の、今このタイミングでの予防接種が不可欠である。</p> <p>ワクチンの定期接種を受けていない世代に対し、混合ワクチンで約1万円かかる接種費用への助成を行い、胎児に重大な結果をもたらしかねない風しんを未然に防ぐべきだと思いが、考えを伺う。</p>		市長	

順位	2	質問者	八谷 文策	答弁を 求める者
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 庄原市の観光事業について (比婆山連峰の夢)	<p>庄原市一円にまたがる「比婆道後帝釈国定公園」は、今年、指定50年を迎えるとのことだが、庄原市ではこれらの観光資源をどのように活用しようとしているのか伺う。</p> <p>また、古事記編纂^{さん}1300年の事業とその結果はどのようになったのか。新庄原市一円の事業として取り組むことができたのか伺う。</p> <p>国取りの大きな力となった鉄器時代のタタラ文化によるこの地方の発展の様子、さらには熊野神社の果たしてきた役割などを、私たちの財産としてどのように観光事業につなげていくのか、昨年からの結果とその成果について市長の答弁を求める。</p>		市長	
2. ウイル西城の補助金について	<p>商業集積複合施設(ウイル西城)に係る維持管理補助金9,216,000円が、一般的に委託料又は負担金となるべきではないかと考えるが、補助金として支払われている根拠を伺う。</p>		市長	

順位	3	質問者	近藤 久子	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 女性管理職登用について	<p>5月13日の新聞報道によると、本市は女性管理職の割合が11.7%となっていた。しかし、一般行政職総数からみれば4.8%であり、市民生活課長と社会福祉課長の二人のみである。</p> <p>「まちづくり条例」の基本原則のもと、第8条第3項に市長の責務として、『市長は、まちづくりの課題に的確に対応できる職員を育成するものとします。』と定められている。</p> <p>また、「第2期行政経営改革大綱」策定に当たっての審議会委員は、11人中5人を女性とする案が示され、前期大綱の未達成項目として、職員の意識改革及び能力開発が記されている。</p> <p>「庄原市男女共同参画プラン」後期計画の重点目標には、市職員における男女共同参画の推進が掲げられており、市長の今後の女性管理職登用における推進方策及び数値目標を伺う。</p>		市長	

順位	3	質問者	近藤 久子	
項目		質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 複式学級の増加に伴う課題について	<p>市内の小学校 19 校のうち、複式学級を有する学校が昨年より 5 校増加し、12 校となった。そのうち 2 校は完全複式である。</p> <p>児童一人ひとりへの丁寧な指導で、基礎・基本の確実な定着を図ることができたり、異学年の交流を通して、学び合いの態度や思いやりの心が育つ等、多くの利点もあるが、「中一ギャップ」と言われる中学校に入学して学習や生活の変化になじめない子どもたちや、友達関係の固定化も懸念されている。</p> <p>複式教育の課題をどのようにとらえ、その解決に向け取り組んでいるのか伺う。</p>		教育長	

順位	3	質問者	近藤 久子
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 小・中学校における課題について	<p>(1) いじめと問題行動について、小学校では平成22年度から平成23年度にかけて、いじめが増加傾向にあり、中学校では問題行動が際立って多くなっている。</p> <p>平成24年度の状況と対応について伺う。</p> <hr/> <p>(2) 平成27年度から平成31年度を期間とする、新たな子育て支援事業計画策定に向けた取り組みが始まる。現行の庄原市次世代育成支援行動計画の後期計画の中から、2点の進捗状況を伺う。</p> <p>①障がいのあるすべての児童・生徒が個々の教育課題に的確に対応した教育を受けられるように、特別支援教育担当者以外の教員へ研修内容を広めるとともに、保護者等に理解を深める取り組みと、保育所・幼稚園との連携を行うことについて。</p> <p>②固定的な役割分担の払拭や、人権意識に基づく、男女がともに子育てをする啓発及び男女平等教育推進について。</p>		教育長

順位	3	質問者	近藤 久子
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
4. 乳がんの早期 発見・早期治療 に向けての取 り組みについ て	<p>日本では毎年6万人の女性が乳がんにかかると推定され、毎年1万人以上の女性が亡くなっている。</p> <p>乳がんにかかる方も亡くなる方も、働き盛りの30代から60代に多いのが特徴である。早期発見ができれば9割の命は助かるだけに、本市の検診受診率アップに向けての取り組みが重要となる。以下の3点について伺う。</p> <p>(1) 本年10月下旬に東城地域においてピンクリボン実行委員会合同研修会が開催される。現在、実行委員会が結成されていない総領・高野・比和地域の組織化を促進し、参加を呼びかけることについて。</p> <p>(2) 検診受診と合わせ、自己検診の啓発活動を行うことについて。</p> <p>(3) 検診に来られない理由の分析を行うことについて。</p>		市長

順位	4	質問者	徳永 泰臣
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 本市の農林業 振興策について	<p>(1) 市長は所信表明の中で、地域産業の育成と「庄原ブランド化」の推進や、新たな農業支援策に取り組むとされているが、その具体策を伺う。</p> <p>(2) 同じく、森林の資源活用、林業再生に向けた取り組みにおいて支援策を検討するとあるが、その具体策を伺う。</p> <p>(3) 農林業を中心とした新たな雇用の創出が急務と考えるが、その具体策を伺う。</p>		市長
2. 若者定住促進 について	<p>(1) 若者定住のための住宅環境対策の現状と今後の施策について伺う。</p> <p>(2) 若者定住のための雇用確保対策の現状と今後の施策について伺う。</p>		市長
3. 庄原産直市八 木店の経営状 況について	<p>庄原産直市八木店の経営状況について、これまで何度も一般質問等で取り上げられているが、その後の販売状況、経営状況及び今後の展開について伺う。</p>		市長

順位	5	質問者	坂本 義明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 庄原市における観光産業について	<p>(1) 庄原さとやまオープンガーデンの現状と今後の方向性について伺う。</p> <p>-----</p> <p>(2) 道の駅たかのの現状と今後の課題について伺う。</p> <p>-----</p> <p>(3) 庄原さとやま体験メニューの現状と今後の方向性について伺う。</p>		市長

順位	6	質問者	吉方 明美
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 庄原市長期総合計画及びスマイルこどもプランについて	(1) 平成 18 年度から 10 年間を見通して策定された「庄原市長期総合計画」における「安心して子どもを産み、育てられる環境づくり」について、その進捗状況と課題について伺う。		市長
	(2) また、同時期に策定されたスマイルこどもプランも、間もなく計画期間を終えようとしている。現在、次期プラン策定に取り組まれようとしているが、現計画の成果と評価をどのように反映されようとしているかについて伺う。		

順位	6	質問者	吉方 明美
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 放課後児童クラブについて	<p>小学生の放課後の居場所として「放課後児童クラブ」があるが、本年4月から受け入れ対象が小学校3年生までとなった。</p> <p>しかし、地域や家庭の事情により、児童クラブを必要としている4年生以上の児童をもつ家庭がある。</p> <p>安心して仕事と子育てを両立するためにも、年齢制限をなくし、留守家庭の6年生までの希望者全員を受け入れる必要があると思うが、市長の考えを伺う。</p>		市長

順位	6	質問者	吉方 明美
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 庄原市営住宅 の入居基準と 手続きの簡素 化について	(1) 所得の少ないUターン、Iターンの若 者が家族同伴で暮らしたい場合、どのよう な住宅があるか伺う。		市 長
	(2) 家族構成に応じた住宅選定に考慮すべ きだと思う。その一つの方策として、収入 の下限を設定せず、住宅助成金を出すこと はいかがか伺う。		
	(3) 市民住宅の契約更新は、そのつど契約 を交わし保証人を必要とする様式となっ ているが、保証人の実印が必要で、そのつど 市役所へ出向き印鑑証明を取り寄せてもら う手間を考えると、心苦しいという声を聞 く。 2回目以降の契約継続の場合は、書類を 簡素化する必要があると思うが、市長の考 えを伺う。		

順位	7	質問者	五島 誠
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 子育ての負担感軽減について	4月臨時会の市長所信表明の中に、『子育ての負担感を軽減し、安心して、出産・子育てができる環境整備・支援策を検討』とあったが、具体的にどのような方策を検討されているのか伺う。また、既存の施策のこれからの運用及びPR方法など、どのような方針をもって進めるのか伺う。		市長
2. 電子申請について	広島県・市町電子申請システムの取り扱いと今後の活用について、現在、庄原市においてのメニューは「教育用ビデオ等借用申請」のみであるが、今後どのように活用していくのか伺う。		市長

順位	8	質問者	赤木 忠徳
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 人口減少対策 について	<p>庄原市の人口は、昭和22年92,240人をピークに減少している。合併時、平成17年には43,149人、平成24年には4万人を割り込み、現在39,181人である。平成40年には3万人を割り込む事態となり、この人口減少問題に取り組むことが一番の活性化対策と考える。</p> <p>(1) 市長は、人口減少対策が本市における一番の活性化対策と考えられているか。さらに、財政的視野にとらわれずに考えられる対策はどのようなものがあるか伺う。</p> <p>-----</p> <p>(2) 年齢別にターゲットを絞り込み、対応が必要と考えるが、年齢別にはどのような対策を考えられているのか伺う。</p> <p>-----</p> <p>(3) 20歳～49歳までの未婚率は、男女とも年を追うごとに上昇している。平成17年時点では、男性の未婚率は44.4%と半数近くを占め、女性の未婚率は26.6%と大きく上昇し、4人に1人は未婚という状況であるが、この原因と対策について、どのように考えられているのか伺う。</p>		市長

順位	8	質問者	赤木 忠徳
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 庄原市出身者の組織化について	<p>(1) 西城町では、西城町出身者で構成する「東京西城会」、比婆郡出身者で構成する「広島たたら会」などが結成されているが、他にどのような組織が結成されているのか伺う。</p> <p>-----</p> <p>(2) 先日、広島市で開業されている医師が、自宅を市に開放する意思を伝えられた。現在、各分野で活躍されている方が数多くいらっしゃると思うが、その方々の情報は把握しておられるのか伺う。</p> <p>-----</p> <p>(3) その方々に講演などを依頼し、ふるさとの発展に寄与いただく考えはないか伺う。</p>		市長

順位	9	質問者	政野 太
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 超高速情報通信網整備に関する今後の方向性について	(1) 「新たな市長に判断をゆだねるべき」とされた「超高速情報通信網整備事業」について、市長の考えを伺う。		市長
	(2) 仮に、平成24年度の「庄原市高速情報通信網整備検討委員会」の提言に基づき、都市計画区域から順次光ケーブルを布設する民設民営方式を取り、該当地域において加入率が大幅に下回わり、それを運営管理する民間会社が赤字となった場合、市として公費を投入する考えはあるのか伺う。		
	(3) 第4世代移動通信システム(LTE)等を利用した、市全世帯への通信網整備について、市長の考えを伺う。		
	(4) 携帯電話、スマートフォン、タブレット端末などで利用可能なアプリケーションコンテンツ(市独自のSNSサービス)の製作及び運営を行うといった、高速情報通信網を利用した住民サービスについて、市長の考えを伺う。		

順位	10	質問者	宇江田 豊彦
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 「所信表明」 について	<p>(1) 施策推進の基本姿勢について</p> <p>4月26日市長就任に当たっての所信表明が行われたが、より具体的に認識を伺う。市長は、所信表明において、政策推進の基本的スタンスを次のとおり明らかにされている。</p> <p>『本市が抱える様々な課題を克服し、停滞する現状を乗り越え、皆さんと一緒に「活力のある庄原市」を築くため、今回の選挙において、「地域産業」、「暮らしの安心」、「にぎわいと活力」を柱とする「庄原いちばんづくり」をお約束いたしました。</p> <p>この「いちばんづくり」の「いちばん」とは、決して数値や量、順位などを基準としたものではなく、「しあわせ」や「安心」、「達成感や満足感」といった、心の「いちばん」を実感できること、「やっぱり、庄原がいちばんええよのお」と思える「まちづくり」を意図しております。』</p> <p>このように諸課題に対する基本的スタンスを示された。これは競争原理によるグローバルスタンダードを否定したものと私は受けとめた。つまり、一人ひとりの人権が確立する中で、自己実現をめざせる本市の基本的な有様を示されたものと思う。</p>		市長

順位	10	質問者	宇江田 豊彦	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 「所信表明」 について	<p>本市運営について、人類普遍の原理である基本的人権を常に尊重した市政をめざされる決意と解されるが、あらためて市長の認識を伺う。</p> <hr/> <p>(2) 林業振興について</p> <p>市長は所信表明において、『豊富な森林資源の活用、地域材の消費拡大に向けた支援策を検討してまいります。』とされ、林業振興を重要な課題と位置づけられている。</p> <p>これまでも、「人工林の育林対策」や「間伐材の活用」、「林内路網整備」、「地元材活用」の事業など様々な施策が展開されてきたが、ますます実態は厳しくなっていると思う。</p> <p>また過日、広島県の出資法人である県農林振興センターの破綻が伝えられた。巨額の投資にもかかわらず、大きな成果を出すこともできなかった現実を目の当たりにすると、本市においてどのような対策があるのか不安を感じざるを得ない。</p> <p>このような状況下で、今後の林業振興について、どのように取り組もうとされているのか伺う。</p>		市長	

順位	10	質問者	宇江田 豊彦
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 「所信表明」 について	<p>(3) 子育て支援策について</p> <p>①私がかねてより、出産祝い金について、受益者に対して現金を支給するのではなく、制度的に子育て費用の軽減をすべきと提言してきた。新市長就任のこの時期に、あらためて検討すべきと考えるが、市長の考えを伺う。</p> <p>②また、第二子以降の保育料の軽減について、さらなる検討が必要と思うが、市長の認識を伺う。</p>		市長

順位	11	質問者	谷口 隆明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. バイオマス利 活用問題の早 期決着を	<p>(1) 第三者委員会の報告書を受けて、計画主体として庄原市自らの検討など今後の対応について伺う。</p> <p>(2) 中国四国農政局の担当課長は、不正に受給した補助金の返還命令はタイミングの問題と言っており、国からの交付金の返還命令は免れない。そのためにも市行政として、この原因と責任の所在を明確にし、その上で、市民に説明すべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>(3) 市行政としては、本事業からは完全撤退し、庄原市全体を視野に関係者の意見をよく聞いて、地に足の着いた林業振興策を探るべきだと考えるが、市長の見解を伺う。</p>		市長
2. 子育ての負担 感の軽減を	<p>私たちの実施したアンケートでも、若者の住みやすいまちづくりを望む声が一番多かった。多くの課題があるが、その一つとして、子どもの医療費への助成はせめて中学生まで拡充し、所得制限等の見直しを行うべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p>		市長

順位	11	質問者	谷口 隆明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 住宅リフォーム助成制度の積極的運用を	この制度は経済波及効果が抜群で、だれが見ても生きた予算の執行である。本年度の申し込みもすぐにいっぱいになった。補正予算で上積みし、現下の厳しい地域経済を支えることは、地方自治体の役割ではないかと考えるが、市長の見解を伺う。		市長
4. 生活保護制度の改悪への対応は	現在、参議院で審議中の「生活保護法の一部改正案」は、憲法第25条が規定する基本理念を侵すものとなっている。生活保護の申請時に申請書類の提出を義務付けたこと、福祉事務所の扶養義務者に関する調査権限の付与と扶養義務者への通知を義務付けたこと、また、ほんの一部の不正受給を口実に国民を分断して基本的人権を奪うやり方も大問題である。市民の基本的人権を守り、暮らしの安心を支える市政運営とは相容れないと考えるが、市長の見解を伺う。		市長

順位	1 2	質問者	林 高正
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 地域おこし協力隊員について	本市にはこれまで2名の地域おこし協力隊員がいたが、地域に溶け込み、4月からそれぞれ地元の会社の社員として働き始めている。しかし、新年度予算には地域おこし協力隊に関連する予算は計上されていない。補正予算で対応すると言われるが、それでは本気度が低すぎるのではないか。地域おこし協力隊員を導入して、地域がどう変わったのか、検証を含め所見を伺う。		市長
2. 庄原市の教育について	(1) これまで何度も「庄原の教育」について一般質問を行っているが、具体的なものが見えてこない。金沢市の小中一貫英語教育特区が掲げている「金沢を英語で案内できる子を育てる」といったような、明確なコンセプトを示して欲しいが、所見を伺う。		教育長
	(2) また、幼保時代も重要と考えるが、就学前教育充実のため、現場ではどのような取り組みがなされているのか、あるいは指導があるのか、具体例を示して答弁いただきたい。		市長

順位	12	質問者	林 高正
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 給与の減額について	<p>今回の6月定例会に上程された、特別職と市職員の給与を減額する条例について、分権改革と言いながら、給料部分の交付税を下げていると言う政府に対して、どう行動するつもりなのか、所見を伺う。</p>		市長

順位	13	質問者	福山 権二
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 木質バイオマス利活用プラント整備事業について	<p>(1) 木質バイオマス利活用プラント整備事業に関する裁判において、被告は一審判決を不服として控訴しているが、被告の反論内容及び本市としての見解を伺う。</p> <p>(2) この事業については、林業振興課が全事業調査を実施しているが、いまだに報告がなされていない。この事業に関して、市の総括見解を公表すべきであると考えますが、市長の見解を伺う。</p> <p>(3) この事業については、第三者委員会が関連する事務事業全体を調査した結果が公表されているが、この調査結果に対する市長の見解と今後の対応方針を伺う。</p>		市長
2. 本村地区の高速道路からの塩害対策について	<p>本村地域で被害が発生している中国自動車道の凍結防止剤を原因とする塩害について、昨年8月に一定の報告がなされたが、その後の状況及び今後の対応について伺う。</p>		市長

順位	14	質問者	松浦 昇	答弁を 求める者
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 市長の政治姿勢について	<p>(1) 平和憲法を守り、これを政治や生活に生かす立場で市政を運営されるのか、それとも安倍政権のように、政治に合わせるため憲法を壊す立場で取り組まれるのか、市長の所見を伺う。</p> <p>(2) 『初心を忘れず、驕ることなく、公平・着実な市政運営に努めてまいる所存でございます。』と、市長は所信表明の中で述べている。少数意見や周辺部等、声の届きにくい地域や市民の民意を市政に生かすことが求められていると思うが、どのような姿勢で取り組まれるのか所見を伺う。</p>		市長	
2. 国民健康保険制度を被保険者の生活実態に沿うように改善を求める	<p>(1) 一世帯当たり平均1万円の保険料引き下げを実施すべきと考えるが、所見を伺う。</p> <p>(2) 平成27年度より、全医療費に拡大される保険財政共同安定化事業を実施することが決まり、国保運営の都道府県化について、厚生労働省の審議会においては、両論併記が公表されている。</p> <p>被保険者そっちのけで論議が進む中、全国で広島県のみが広域連合で対応しているが、広域化の方向性、さらには保険料の決定や徴収方法等の詳細について、市長の所見を伺う。</p>		市長	

順位	14	質問者	松浦 昇
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 測量等コンサルタント業務の指名競争入札について	<p>現行の指名競争入札制度は、2年前に変更されたと聞くが、変更後の実績、効果及び問題点について伺う。</p>		市長
4. 庄原赤十字病院の出産医療の再開について	<p>選挙戦で日本共産党は、市民の協力のもと、アンケート調査を行った。その中で、「若者が住みやすい庄原を」と望まれる多くの声が届いた。庄原市内で出産ができるよう、庄原赤十字病院と力を合わせ、一日も早い実現に向け取り組むことが急務と思うが、再開の見込みとその対応について伺う。</p>		市長